

令和元年度 福祉のまちづくり研修



マニュアルだけでは理解できない「福祉のまちづくり」のセンスを磨きませんか？
この研修は、障害当事者のバリアフリー設備の利用方法等を確認しながら、視覚障害者とのフィールドワークや車いす体験、障害当事者の講話を通して、高齢者や障害者等の立場を知り、そこから得た気づきの視点をまちづくりの企画・設計など、日頃の業務に生かしていただくことを目的としています。

日時

令和元年 **10月30日（水）・31日（木）**

9時15分～17時15分（受付開始 9時10分）

※研修内容は両日も同一です

会場

横浜市中区福祉保健活動拠点 多目的研修室

（横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4階）

〒横浜高速鉄道みなとみらい線「日本大通り駅3番出口」より徒歩3分

プログラム

トイレセミナー

障害者等のトイレの利用方法、配慮のポイントをTOTO(株)の講師が解説

障害当事者の講話

視覚障害、直腸・膀胱機能障害（人工肛門・人工膀胱造設者）の特性、整備する際の注意点を障害当事者が語る

視覚障害者とフィールドワーク

視覚障害者誘導用ブロックの使い方、横断歩道の渡り方等を視覚障害者の講師が実演し、また白杖を用いて実際に体験する

車いす体験

車いすの操作方法を学び、実際に自走して屋内外の床面の違いやスロープの縦断勾配、トイレ内の設備の使い方等を体験する

事例検討・紹介

グループワークを通し、整備の際の注意点や障害当事者等にとって「望ましい」整備を考える

対象・申込み等

公共建築物、道路、公園等の企画・設計や管理を担当している職員

その他受講を希望する職員 **40名程度**（各日20名）（応募者多数の場合は抽選）

※切：令和元年10月3日（木） ※受講可否について別途ご連絡します

下記QRコード・URLから申込ページへ

QRコード：



URL：

<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1567735695581>

♪受講者の声♪
「工事の設計・監督をする職員には必修の研修です」

「体験を通して、マニュアルで定められている設備や基準の必要性が実感できました」





- 電車をご利用の場合
 - ・横浜高速鉄道みなとみらい線「日本大通り駅3番出口」から徒歩3分
 - ・JR京浜東北線・根岸線「関内駅」、「石川町駅」から徒歩15分
 - ・横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩15分
- バスをご利用の場合
 - ・「芸術劇場・NHK前」下車、徒歩2分

以前、福祉のまちづくり研修を受講した方にもおすすめです！

福祉のまちづくりのセンスを養いたい方

障害者や高齢者が利用しやすい設計に関心のある方はぜひご参加ください♪

★主催・問合せ 横浜市健康福祉局福祉保健課

(TEL) 045-671-2387 (MAIL) kf-fukumachi@city.yokohama.jp

★協力 TOTO株式会社、(特非)View-Net神奈川、横浜市オストミー協会、
福横浜市リハビリテーション事業団

